



長野



I O N

会員数	334-E 地区	2,585 名 (5月末現在)
	長野 LC	123 名 (6月末現在) (家族会員 52 名含む)

No.620

発行日 2019.7.1 334-E 地区
長野ライオンズクラブ
広報委員会発行

スローガン 「**結束から生まれる奉仕の輪**」

長野ライオンズクラブ
会長 L. 徳嵩 ことい

会長就任挨拶

会長 L. 徳嵩 ことい

ライオンズクラブが誕生して102周年、長野ライオンズクラブも1962年の結成以来、諸先輩方の努力により輝かしい歴史と伝統を積み上げてまいりました。その誇りや信条を胸に刻み、微力ながら取り組んで参りたいと思います。

長野ライオンズクラブは、2年後には60周年という節目の年を迎えます。節目の年に向け、結成以来実践してきた数々の事業や奉仕活動の成果を振り返るとともに、メンバーの自由な発想や個性豊かな活動が必要な時代です。そこから生まれる相互理解やライオニズムの精神を再認識し、次世代に繋げていきたいものです。クラブの活性化や時代を見据えた奉仕活動の模索・検討等とともに、会員同士の結束を高め機運を盛り上げる年にしたいと思います。

ライオンズクラブのモットーは「We Serve (われわれは奉仕する)」が基本理念であります。全員相互の知恵と労力を結集し、謙虚・感謝の心を持って地域社会への貢献・感動あふれる活動を実践したいものです。会長スローガンは「結束から生まれる奉仕の輪」といたしました。チームワークで有意義な活動をすることで、皆様と想いを共有し取り組んで参りたいと思います。委員会主導の活動、全員参加の例会・アクティビティでクラブの活性化に努める所存であります。

未熟者ではありますが、メンバーの皆様と相互理解のもと、明るく楽しいクラブ運営を目指して参ります。皆様のご指導・ご協力を心よりお願い申し上げます。



2019～2020会長方針

「結束から生まれる奉仕の輪」

1. 会員維持と会員増強
2. 例会・アクティビティの出席率向上
3. 奉仕活動の模索・検討、実施
4. 委員会活動の活性化・委員会主導の活動
5. スポーツ・文化面から青少年健全育成の推進
6. 自由な発想や意見を大切にしたクラブ運営

2019年7月～2020年6月



第一副会長

L. 竹内 正

このたび、徳嵩会長のもと第一副会長と言う大変重要な役職を拝命され、責任の重大さに気づかされております。今まで事業委員会、特別委員会が長く、運営委員会は近年になってからで、精通までとはいかないのが実情です。しかしお受けしたからには結成60周年を2年後に控え、委員会を中心に各委員長はじめ全委員・全会員の皆さんと共に頑張りたいと思います。

運営委員会はGATを展開する大変重要なところ。広報委員会では、タイムリーな情報の提供、計画出席委員会は出席率の向上、無断欠席、会員会則委員会は時代に合わせた変化の対応、財務委員会は緊縮財政、研修・育成委員会は会員を育み、特に会員増強委員会は会員増をめぐりて委員会ばかりでなく、全員で取り組まないといけないと思っております。

会長スローガンである、「結束から生まれる奉仕の輪」を実践できるよう委員長を中心に結束を図り、会員相互の力を結集し、謙虚・感謝の心を持って地域社会への活動、全員参加の例会・アクティビティでクラブ活性化を目指します。皆様のご協力・ご指導をお願いし挨拶とさせていただきます。1年間よろしくお願い申し上げます。



第二副会長

L. 北澤 哲也

この度、徳嵩会長の下、まだライオンズの基礎も分っていないような私がこのような大役を仰せつかることが出来たのもひとえに先輩方の温かいご指導と仲間の協力があってからだ感謝申し上げます。

ライオンズクラブの根幹を担うであろうこの事業委員会は、「We Serve (我々は奉仕する)」のモットーを念頭に置きながら、先代の皆さんが行ってきた活動を引き継ぎ、更に改善できることは委員会メンバーと話し合いながら行っていきたくて考えています。体力的に厳しい方々もいるかも知れませんが、様々な事業の中で自分の出来る範囲でご参加頂き、社会奉仕活動を行っていただければ、必ずやその姿に感銘を受け、己も負けじと奮起し、ライオンズ活動全体が活性化していく…。それこそが年齢の幅を超えた真のライオンズの姿であり、そこでこそ友情や信頼が生まれるものと信じております。

浅はかな知識と経験の中ではありますが、頑張っていきますので、皆様からの変わらぬご指導ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。



第三副会長

L. 植木 鉄也

この度、第三副会長を拝命し緊張と高揚感が交錯しています。私の役割は執行部と委員会の繋ぎ役と考えており、徳嵩会長のスローガンの中に「会員相互の力を結集し」「チームワークで有意義な活動を」とございますが、この言葉を中心に置き会員の皆さんに「参加して良かった」と実感して頂ける委員会活動に努めます。そのために、納涼例会の工夫、親睦ボウリング大会を「親睦ボウリング例会」として企画運営する、クリスマス例会の日程を変更しファミリーの皆さんも参加しやすくする、来春に千曲川桜づつみ花見例会を企画運営する事を進めて参ります。新会長スローガンの締めくくりに「委員会主導の活動、全員参加の例会・アクティビティでクラブの活性化に努める所存です」とございます。私たち会員厚生ファミリー委員会は矢部委員長を中心に委員会の中でも楽しめる活動を進めて参ります。どうぞ宜しくお願いします。

役員就任挨拶



幹事

L. 清水 威彦

この度、長野ライオンズクラブの幹事を務めさせていただくことになりました。

徳嵩会長が掲げた「結束から生まれる奉仕の輪」のスローガンを基本に、今年度のクラブ活動のまとめ役に徹したいと思います。

歴史と伝統を感じつつ、新しい時代にも対応し、全員が奉仕活動に邁進できるよう全力投球する所存です。

毎年の課題であります会員増強は勿論のこと、今まで培ってきた活動を着実に遂行し、八役で意思疎通を図りながら、あまり先を読み過ぎず、その時々でベストと思われる選択をし、結果的に笑みが溢れるような1年で終えられたらと思っております。

それにつけても会員の皆様のご協力がなくては何事も前に進みません。例会出席・各アクティビティーへの積極的な参加は勿論のこと、忌憚のないご意見を頂きながら、大所高所からのご指導をお願い致します。

解らないことや疑問点は素直にお伺い致します。重ねてご協力をお願い致します。就任の挨拶とさせていただきます。



会計

L. 対馬 明美

本年度会計を仰せつかりました対馬でございます。平成23年の5月に長野ライオンズクラブのお仲間に入れて頂き、早いもので8年が経ちました。その間、決して優秀なクラブ員でなかった私が「会計」という大役を仰せつかり、大変恐縮しております。

ただ、仰せつかったからには1年間三役の一員として徳嵩会長の意向に沿えるよう、微力ではございますが頑張っている所存でございます。

ライオンズクラブはクラブ会員の会費により事業を運営しております。決定は全て理事

会・例会の承認を経てのことではございますが、ライオンズ精神の基、正しい予算と実施が行われるよう会計職務を全うして参りたいと思っております。

1年間皆様には何かとご協力頂くことも多々あるかと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。



ライオンテーマー

L. 宮澤 度

この度、伝統ある長野ライオンズクラブのテーマーを拝命致しました5年目の宮澤です。この重責にあらためて身が引き締まる思いがあります。先輩方が築き上げられてきた長野ライオンズクラブの友愛の精神と、尊ぶ心を忘れずに、会員の皆様が一年間、心地よく楽しく例会に参加していただけるよう心掛け、その中でも節度と律をもって臨めるよう、大変僣越ではございますが、徳嵩会長のもと一生懸命に職務を全うしていきたいと存じます。しかしながら、見ての通りの若輩無学者でございます。至らぬ点多々あるかと存じますが、これからもご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。



テールツイスター

L. 久保田 大輔

一年間副テールツイスター経験をえて、今期テールツイスターを仰せつかりました。八役と言う大役に責任を感じますが、それよりも口下手なので、流暢なスピーチができるのが不安でございます。

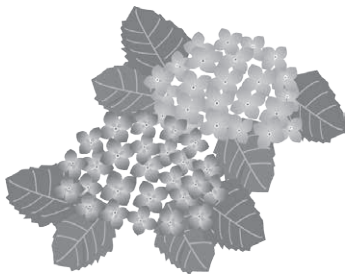
口下手だからこそ一年間やり通した後の自己成長が楽しみでもありますので引き受けた以上、時事ネタとユーモアを織り交ぜながら歴代のテールツイスターに負けないスピーチ力で頑張らせていただきます。甚だ簡単ではございますが、就任挨拶とさせていただきます。

一年間、宜しくお願い申し上げます。

誕生日を迎えて

L. 植木 鉄也

特にこれと言った趣味もなく、いつの間にかトレッキングを楽しむようになりました。白馬にはいくつもの山がありますが、岩岳は大のお気に入りです。春から秋はトレッキング、バイクの穴場で、ユリ園も併設されています。当然冬はゲレンデとして。駅から飛び出すカプセルの勢いにどこのゴンドラよりもハラハラさせられますが、標高1,289mの山頂へ向かう眺めは最高です。広場を進むと「ねずこの森」があります。ねずこは木曾5木のひとつで根もとからいく本もの幹が伸びているのが特徴です。枝葉が勢い良く繁っている時期は、チゴユリ、ママコナ、ユズリハ、ツルアリドウシ、オオカメノキ、黒文字など様々な山野草、雑木が楽しめます。プナの群生林やミズナラの林からそれぞれの香りが漂ってきますが、なんでも木々は香りを出して会話をしているとか。木肌を観察すると熊の爪痕が縄張りを示しており、気配は感じられませんが獣の匂いもするときもありヒヤッとします。どんな山でも、鈴やラジオなど音が出るものを携帯したいですね。ゆっくり山を巡った後はおにぎり温泉です。ゴンドラ駅近くにある日帰り温泉「岩岳の湯」は、塩分を含んだ泉質で少しヌルっとしますが私には至福の場です。健康に留意しながら、山歩きも楽しみ、充実した一年を過ごしたいと思います。



誕生日を迎えて

L. 原田 純一

7月20日で60歳になってしまいます。還暦ということであまり嬉しくない節目です。

昨年の「誕生日を迎えて」の原稿を読み返し、何も進歩せずに、光陰矢のごとく過ぎてしまったと反省しているところです。

昨年の誕生日を機に余生の過ごし方を考え始めていますが、あれこれと好きなことをして過ごしたいものです。しかし、ここにきて年金の不足分2000万円問題が噴出して、年金支給までの間の収入をどうしようかと悩んでいるところです。

サラリーマン川柳に「人生の 余暇はいつ来る 再雇用」というのがありましたが、思う存分余暇を過ごすのはいつの日かと暗鬱な気分です。部下に「やっと縁 切れた上司が再雇用」と言われつつも、やむなく再雇用の道を選ばざるを得ないのかなと思う今日この頃です。

「50歳になりました」

L. 宮澤 度

50歳になり、全世界の人類の半分が自分より年下か。そんなことを考える今日この頃です。何の意味もありませんが。しかし、年齢ではないですね。私より若くても世界で活躍している人。もちろん諸先輩たちは、立派で魅力的な人がたくさんおられます。人間どうやって年齢を積み重ねてきたかが重要なのですね。その時その時の出会いや人との繋がりを大事に、これからの人生も大事に過ごしていこうと思います。そこでなんですが、諸先輩方教えてください。最近、睡眠時間が少なくなり眠りが浅く、酒の量が増え、やたらと放尿時間が長くなり、聞き間違えが多くなり、何を冷蔵庫に取りにきたのかすら忘れる始末です。いいお薬、お医者様ご紹介してください。それでは今期もご指導のほどよろしく願いいたします。



定刻のゴングとともに6月第1例会がスタートしました。佐藤会長の挨拶の中で6月30日をもって飯山LC解散の報告がありました。会員数の減少などがその主な理由とのことでした。「今後のクラブ運営の在り方」についてライオンズ必携より各クラブの運営も変化があっても良いのではないかと提言でした。①伝統重視タイプ②サイバータイプ③混合タイプどの形態で運営するのが望ましいのか。改めて考えさせられました。

誕生日祝いの後、委員会報告で、事業委員長L. 麻場貴子より今期最後の奉仕活動になる、「善光寺雲上殿清掃協力」のお願いがありました。

副テールツイスターL. 久保田大輔の挨拶で、時代の流れや変化に伴いつのどか、ドネーションも電子決済になるかもしれないと(笑)

会員スピーチはL. 小池悠による「土地家屋調査士の仕事について」と題しわかり易く、境界杭の測量など普段の仕事内容と、業界全体の知名度アップを図りたいと「杭を残して、悔いを残すな」と名言まで飛び出しました。



例会出席率65人中33名(出席率51%)

(広報委員 L. 宮澤 度)

—— 6月準備理事会 報告 ——

2019.6.13 於：メルパルク長野

◇議事

- 2019年度会長スローガン及び基本方針について
「結束から生まれる奉仕の輪」
- 2019年度主な活動方針について
 - ・運営委員会(竹内 正:次期第一副会長)
 - ・事業委員会(北澤哲也:次期第二副会長)
 - ・特別委員会(植木鉄也:次期第三副会長)
- 理事会の日程及び構成メンバーについて
 - ・原則第2木曜日(12:30 メルパルク長野にて)
 - ・次期副幹事L. 植本和彦の出席について
- 例会日程について
- 誕生日祝いの品物について
- 三役への記念品贈呈について
- その他

—— 以上承認 ——

(文責 L. 清水 威彦)

—— 6月現・次期合同理事会 報告 ——

2019.6.13 於：メルパルク長野

◇議事

- 退会者について
 - L. 鶴田昌雄(一身上の都合により)
- 優待会員について
 - L. 寺島真夫(病気により)
- 不在会員(特例会員)について
 - L. 清水偉孝 L. 横沢吉彦
- 長野ライオンズクラブ60周年検討準備委員会について
 - 委員長 L. 菊池 敏文
 - 副委員長 L. 徳高ことい
 - 委員 L. 植木 鉄也、L. 片桐 洋一
L. 西條 賢治、L. 佐藤 一夫
L. 清水 威彦、L. 立岩 健仁
L. 竹内 正、L. 原田 美登
L. 山浦 悦子
- 第16回長野ライオンズクラブチャリティーゴルフ大会決算報告
- 次期事務局員の給与について
- その他

—— 以上承認 ——

◇報告事項

- 6月25日(火)
長野グリーンシティーライオンズクラブ
5周年例会への招待

(文責 L. 清水 威彦)

本年度最後の例会がホテル国際21において引継例会として行われた。

冒頭会長挨拶では、L. 植本和彦のご逝去が報告され、植本ライオンのご冥福をお祈りしてライオン全員による黙祷が捧げられた。

続いて長野ライオンズクラブ60周年検討準備委員会について委員長L. 菊地はじめ各委員が発表された。

また、次期幹事L. 清水威彦より、次年度年間月別予定表が発表された。

委員会報告では、事業委員長L. 麻場よりチャリティゴルフ大会決算報告がなされ、次期第三副会長L. 植木より、次年度誕生日祝いの品物について、みすずコーポレーションの品物に決定した旨の報告がなされた。

幹事報告の後、現三役より次期三役への引継ぎがなされ、次期三役から現三役へ記念品が贈呈された。

引き続き現三役の会長L. 佐藤、幹事L. 松山、会計L. 下田よりそれぞれ退任挨拶がなされた。また、現八役のL. 徳嵩、L. 麻場、L. 山岸、L. 小池、L. 北澤からも挨拶がなされた。

会長L. 佐藤による最後の閉会のゴングが鳴らされた後、次期会長L. 徳嵩にゴングの槌が引き継がれ、引継ぎ例会は無事終了した。

例会に引き続き、現・次期役員引継ぎ懇親会が次期会員厚生委員長L. 矢部の司会により開かれた。第三副会長L. 山岸の開会挨拶、現・次期会長両名による乾杯のあと宴が始まり、一年間の活動を振り返るスライドショー



が上映された。その後、各々一年間を振り返りながら懇談の時間を過ごし、L. 北澤による最後のテールツイスター登場、現三役によるライオンズローア、最後に第二副会長L. 麻場による閉会挨拶にて閉宴となった。

本年度役員の皆様、一年間お疲れ様でした。

例会出席率65人中41名（出席率63%）

（広報委員 L. 山際 悟郎）

5月の献血実績 三献推進委員会

於：長野市役所（5月8日）

400mL	200mL	合計	血液量
51人	0人	51人	20,400mL

於：長野市役所（5月9日）

400mL	200mL	合計	血液量
50人	0人	50人	20,000mL

於：(株)八十二銀行昭和通営業部（5月23日）

400mL	200mL	合計	血液量
13人	0人	13人	5,200mL

於：NTTタウンページ(株)信越営業本部（5月27日）

400mL	200mL	合計	血液量
13人	0人	13人	5,200mL

これからの予定

7/4(木) 12:30～	第1例会	於：メルパルク長野
7/11(木) 12:30～	理事会	於： 〃
7/18(木) 12:30～	第2例会	於： 〃
7/22(月) 16:00～	広報委員会	於：事務局
7/25(木) 18:00～	メーク・アップ	於： 〃

L. 植本 和彦

あなたが我が長野ライオンズに捧げてくれた多大なる貢献を私たちは決して忘れません。

植本和彦ライオンのご冥福をお祈りし追悼の誠を捧げます。



長野 L I O N No.620

長野市南県町685-2 長野県食糧会館4F
長野ライオンズクラブ発行
TEL (026) 235-3883
FAX (026) 234-4397
会報編集者 L. 神津 富治男